

# 6月のほげんだより

太陽の子保育園  
平成13年6月

## 虫さされやけがのあとに、 とびひになってしまったら

夏場、虫さされやあせもなどをかきむしってしまったら、とびひになることがよくあります。一度とびひになると、何回も繰り返してかかってしまうことが多いので、もし、かかってしまった場合は症状が軽いうちに治療して、症状を重くしないように、注意する必要があります。



虫さされのあとをかきむしってしまった  
はるまじい。かゆいところが、だんだん広  
がってきて…、近くの病院に行きました。

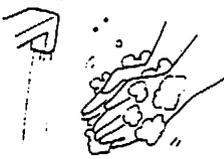


これはとびひといって、蚊にさされたあ  
となどをかきむしってしまうと、そこに細菌が  
つき、それがどんどん広がっていく感染症なん  
です。  
とびひには2種類あって、乳幼児や夏場  
に多く見られる水疱性膿痂疹と、年齢や季節に  
関係なく見られる痂皮性膿痂疹があります。

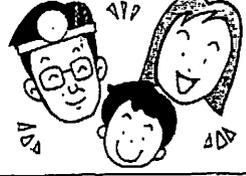
かゆみのある箇所をかいてみると、こんどはその  
液が爪や指についてしまい、その手でほかのとこ  
ろを触るとそこにとびひが広がっていくんです。  
こうして、いつの  
間にかとびひが  
いるところ  
に広がってしま  
うんです。



お子さんにいちやダメといっても、かゆいところをか  
かないでいるのはなかなか難しいので、ご家庭では  
爪をきちんと切ってあげて、手を石けんで洗うよ  
うに心がけましょうね。  
またシャワーなどで肌を  
きれいにし、状態によ  
っては下着をこまめに取り替  
えるなど、清潔に保つよ  
うにしましょう。

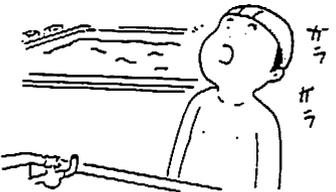


ひとつのとびひは10日くらいで治ってしまうことが多  
いけれど、次から次へと広がっていくので、全部が治るま  
では長い時間がかかってし  
まうことがあります。虫さ  
れ・あせも・けがなどは早  
めに完治させるようにして、と  
びひにならないように気をつ  
けることが大切なんです。

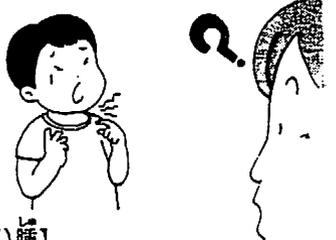


## 夏場に多い感染症 いろいろ

**プール熱【咽頭結膜熱】**  
のどの奥や結膜が真っ赤になり、38~40℃の熱が出ます。  
プールから感染することが多いので、こう呼ばれています。  
プールに入る前に用便をきちんと済ませて、プール前後にシャ  
ワーを浴び、うがいや目  
を洗うなどの基本的な習慣  
を身につけさせるようにし  
ましょう。



**ヘルパンギーナ**  
発熱やのどの痛みがある「夏かぜ」の代表的なものです。  
症状は発熱やのどの痛みがあります。この痛みはのどの奥に  
水疱ができるため、食欲が低下し脱水症状に陥ることもあり  
ます。口の中の痛みが強い  
ため、刺激を与える飲食物  
(温度が熱過ぎる冷た過ぎる、  
味が濃いなど)は避けて、  
上手な水分補給を行うよう  
にしましょう。



**水いぼ【伝染性軟疣(属)腫】**  
伝染性軟疣種ウイルスの感染で起こり、皮膚の表面に水疱が  
あらわれます。  
痛みやかゆみなどはほとんどありませんが、水疱の中の液に  
ウイルスがいるため、これが  
外に出て、ほかの皮膚や人に  
感染していきます。通常は自  
然に治ってしまうものですが、  
多数の発疹がある場合は、浮  
き輪やタオルなどを共用しな  
ないようにしましょう。

